

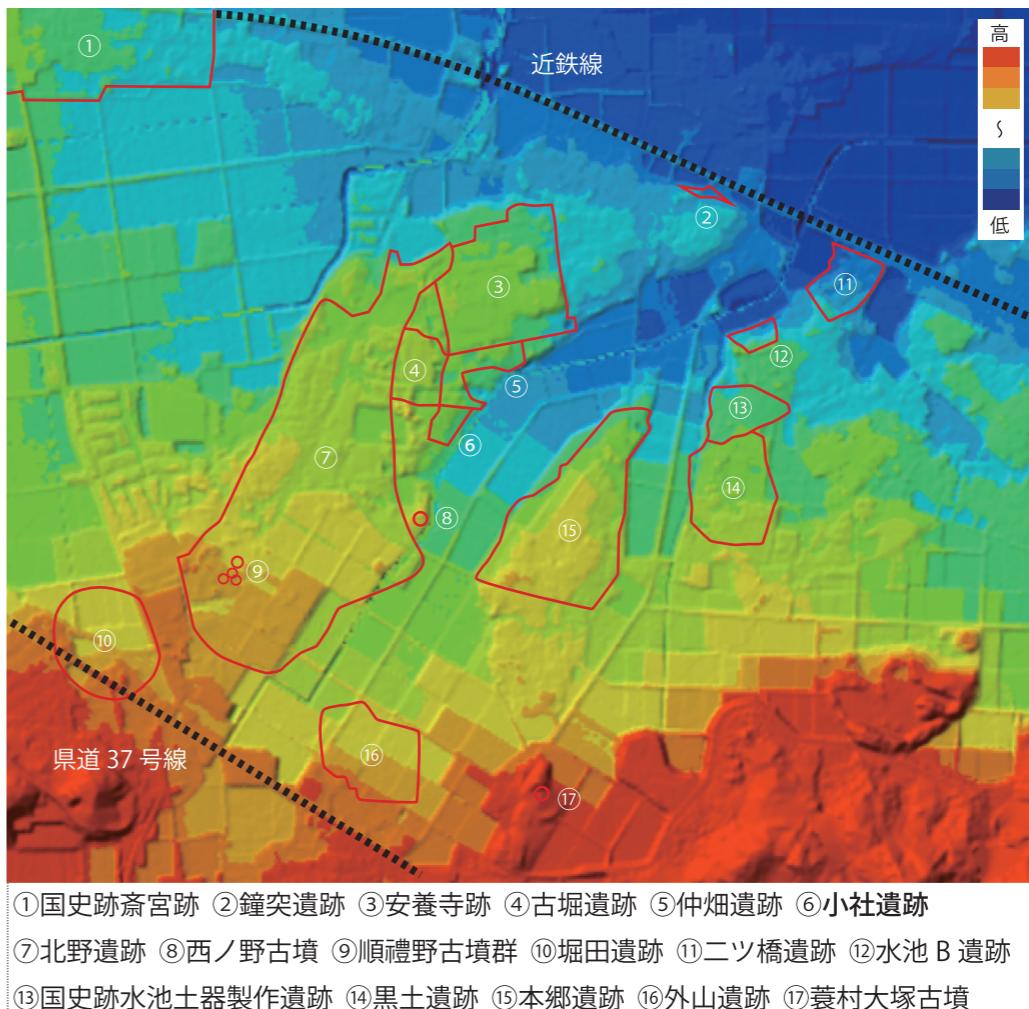
	明和町できごと	小社遺跡と周辺のできごと
34000 年前	旧石器時代	南部の丘陵地でナイフ形石器や尖頭器を使った狩猟が行われる
13000 年前		狩猟の場であり、キャンプ地のような狩猟の一時的な拠点があった。ナイフ形石器や石刃、石器を作る際にでる剥片が出土している。 北野遺跡へべら地区では多くの石器類が出土
7000 年前		遺構は認められず、生活の拠点ではなかったと考えられる。しかし石鏃が出土していることから狩猟の場であったことがわかる
5000 年前		砂堆上の西浦遺跡に縄文人の活動が見られる
4000 年前		西出遺跡で人面土版を用いた祭祀が行われる
3000 年前		コドノ B 遺跡で縄文人が生活
2300 年前		金剛坂遺跡で環壕集落が造られ、稻作が行われる
1700 年前		竪穴建物が 2 基確認された。遺物等から後期の集落があったと推定できる
1600 年前		仲畠遺跡の調査で石包丁が見つかっており、稻作を行っていたことがわかる
1500 年前		金剛坂遺跡などで方形周溝墓が造られる
1400 年前		高塚 1 号墳が造られる
1300 年前		古墳時代 南部丘陵で群集墳が造られる
1200 年前		坂本 1 号墳が造られる
1000 年前	古代	673 斎王制度が始まる（大来皇女が派遣される）
800 年前		土師器焼成坑が造られる
600 年前		水池土器製作遺跡などで土師器が生産される
500 年前		方格地割が整備され、斎宮が最も栄える
400 年前		鎌倉大溝が掘られる
近世		1297 安養寺が創建される
		1336 斎王制度が終わる
		有爾郷で御器長を中心に土師器を生産する
		伊勢街道が整備される
		溝が何条もめぐらされる。農地として利用されていた可能性がある

## 明和町文化財解説シート

# 新発見 小社遺跡と明和町の歴史

こやしろ

令和 6 年 12 月 9 日から令和 7 年 4 月 25 日にわたり上野地内で宅地開発に伴う発掘調査を実施しました。この場所はこれまで遺跡として登録されていませんでしたが、今回の調査により古墳時代から近世にかけての遺構や、それよりさらに古い時代の遺物も多く発見されました。土地の字名から「小社（こやしろ）遺跡」として新たな遺跡の発見となりました。小社遺跡の調査によって新たな古墳群の発見、弥生時代の生活の痕跡、古代における土師器生産の痕跡など明和町内の歴史を語る上で重要な発見が多くありました。



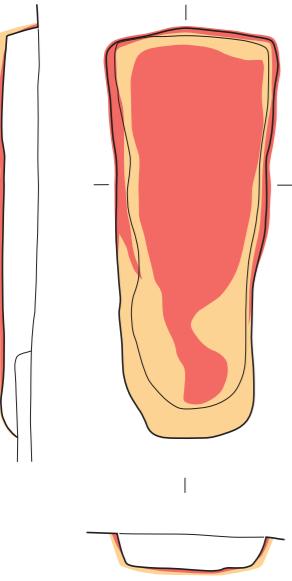
### 〈小社遺跡の立地と地形〉

小社遺跡がある場所は明和町南部にある玉城丘陵から続く舌状の台地上に位置しています。明野原台地と呼ばれる高位段丘面が各所に分布しており、台地上では水害も少なく安定した土地であるため遺跡が集中しています。今の土地利用を見ても台地上に住宅地、台地下の谷状の場所では水田等を行うといった地形に合わせた利用が続いていることがわかります。

小社遺跡がある台地上には安養寺跡、北野遺跡などの遺跡、谷を越えた東側の台地上には本郷遺跡さらに東の台地上では国史跡水池土器製作遺跡、黒土遺跡が分布しています。

### 〈小社遺跡周辺の遺跡 一北野遺跡と仲畠遺跡の調査一〉

小社遺跡の西側には北野遺跡があります。北野遺跡では過去の発掘調査で主に飛鳥時代～奈良時代頃の掘立柱建物や竪穴建物、土師器焼成坑が多く見つかっています。このことから北野遺跡は斎宮や神宮といった場所で使用される土師器の生産地であることがわかっています。令和 5 年度には開発事業に伴う試掘調査が明和町により実施しました。この調査でも飛鳥時代～奈良時代の竪穴建物 3 棟、土師器焼成坑 6 基などが確認され、台地上西側でも土師器生産が行われていたことが確認できました。小社遺跡の北に隣接する仲畠遺跡では平成 24 年度に道路開発に伴う調査が行われました。弥生時代の遺物のほか、奈良時代の土師器焼成坑 1 基が確認できました。



### 〈土師器焼成坑〉

古代に使用された土器である土師器を焼いた窯「土師器焼成坑」が2基発見されました。1基は半分ほど壊されていましたが、もう1基は全体のプランが確認できました。

一般的な二等辺三角形を呈しており、奥壁、側壁は直線的な形をしています。

長軸：約4.4m 短軸：約2.2m 深さ：約0.48m

被熱  
強い被熱

土師器焼成坑1

1 m (1/50)



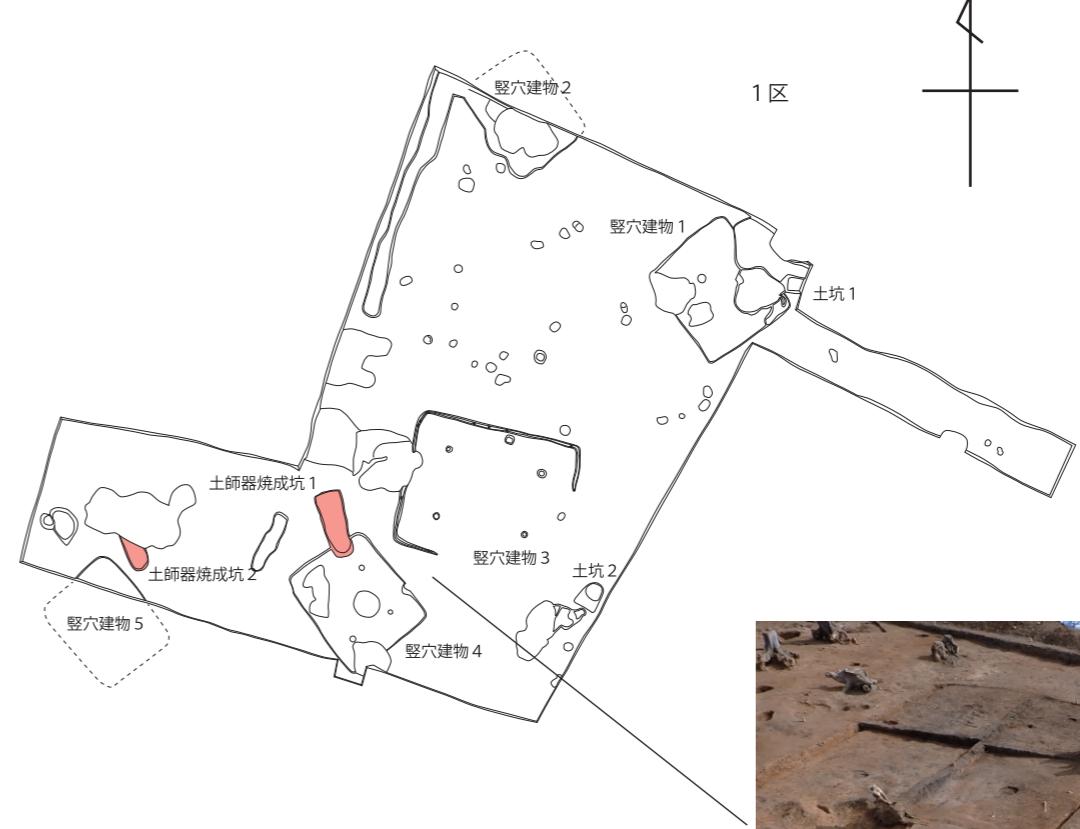
溝（西から）



柵（南西から）



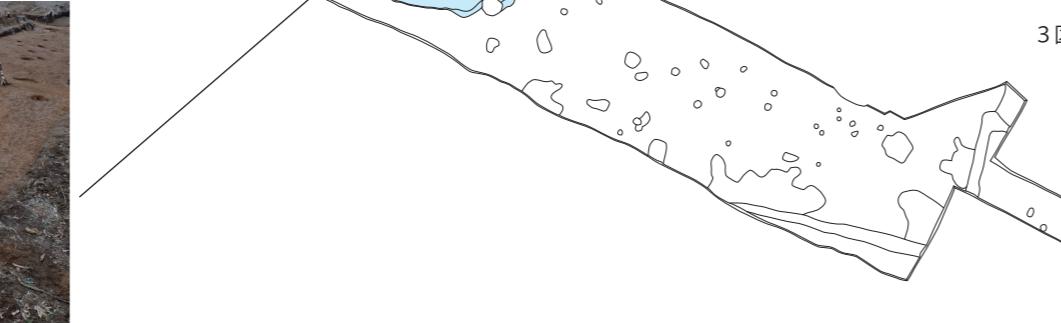
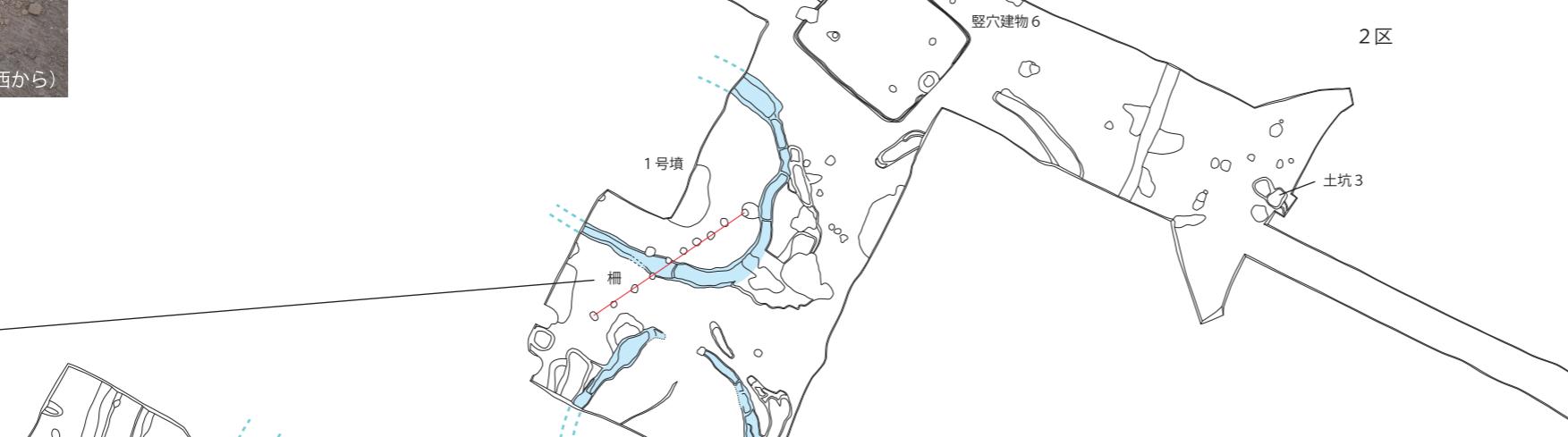
3号墳（西から）



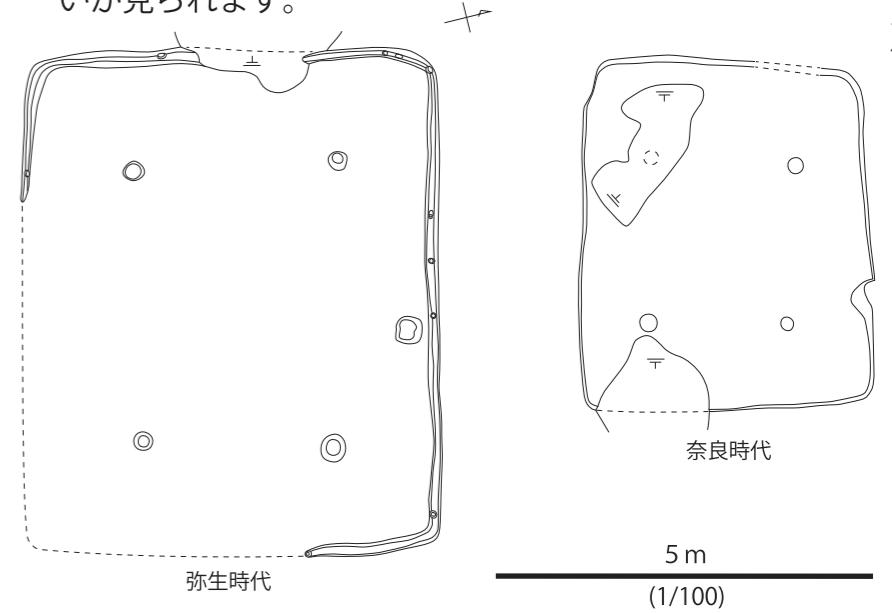
肇穴建物 1	奈良時代
肇穴建物 2	奈良時代
肇穴建物 3	弥生時代
肇穴建物 4	奈良時代
肇穴建物 5	奈良時代
肇穴建物 6	弥生時代
土師器焼成坑 1	奈良時代
土師器焼成坑 2	奈良時代
土坑 1	奈良時代
土坑 2	奈良時代
土坑 3	平安時代
1号墳	古墳時代
2号墳	古墳時代
3号墳	古墳時代



西から



10m  
(1/300)



5m  
(1/100)

### 〈二つの時代の肇穴建物〉

小社遺跡の調査では6棟の肇穴建物が確認され、このうち2棟は弥生時代後期、4棟は奈良時代のものでした。時代の違いによって、建物の大きさや構造にはいくつかの違いが見られます。